



2015年10月20日

今回の博物館だよりは、開催中の展覧会「橋本海関・関雪展-父子の歩み-」(~25日まで)より作品を紹介と、10月3日(土)に館が参加した「ミュージアムフェア」の様子についてと、次回展覧会関連ワークショップについてお伝え致します。



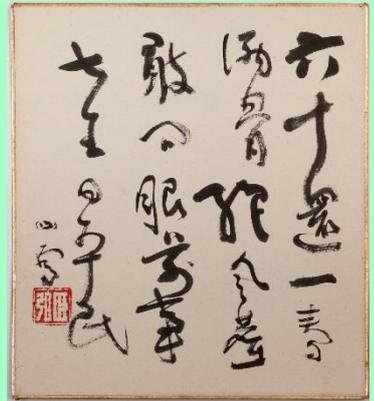
秋季特別展~作品紹介・最終回~

【書き下し】

六十 一春に還り、
骨を洒(そそ)ぎ 風塵(ふうじん)を絶つ。
敢えて問う 眼前の事、
七生(しちしょう)日本の民なり。

関雪が60歳(数え年)の時に詠んだ漢詩です。「還暦は1歳の春に戻ることであり、余計なものを捨て、目の前の為すべきことを考えよう。七度生まれかわっても自分は日本の民なのだから」と、還暦を迎えた清々しい境地を詠んでいます。

「七生」は、楠正成が後醍醐天皇に忠誠を誓った時に用いた言葉です。関雪は湊川神社の近くで生まれ、楠正成を敬愛していました。その言葉を借りたこの詩からは、戦時中、日本のために尽くそうとする関雪の決意がうかがえます。



橋本関雪「五言絶句」
昭和17(1942)年当館蔵

ミュージアムフェア



~お知らせ~

※11月24日(火)必着
★考古学体験ワークショップ★
※要入館料、要申込

「拓本にチャレンジ！」

かわらの模様を、拓本という方法を使って写しとってみましょう!

日時: 12月5日(土) 14時~
対象: 小学生以上 定員: 20名
参加費: 無料

<申込方法>

往復はがきに「住所・参加者氏名・年齢・性別・電話番号・参加人数」を明記の上当館まで。

〒673-0846
明石市上ノ丸2-13-1

10月3日(土)・4日(日)に、神戸ハーバーランド・スペースシアターにて開催された「ひょうごミュージアムフェア 2015」に3日(土)当館もワークショップグループのボランティアと共に参加。当日は過去の展覧会ポスターを利用し、エコバッグ作りを行いました。お子様から、お年寄りの方まで多くの方に参加して頂き、文化博物館の事を知ってもらった良いきっかけになったと思います。



詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。
<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。